

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和元年7月1日  
(前回公表年月日:平成30年5月1日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
専門学校武蔵野ファッションカレッジ	昭和51年10月1日	片桐 芳子	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人後藤学園	昭和25年9月22日	後藤 人基	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6152																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																															
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションスタイリング科	平成21年文部科学省 告示第21号	-																															
学科の目的	ファッションの専門的知識と技術そして、変遷するファッション業界において順応出来る幅広い視野と美意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献出来る人材育成を目的とする。																																		
認定年月日	平成27年2月17日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	1800	510	0	1290	0	0																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
120人	72人	0人	7人	20人	27人																														
学期制度	■前学期:4月1日より9月30日まで ■後学期:10月1日より翌年3月31日まで		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準/方法 出席評価・受講姿勢・試験・提出課題等に基づき60点以上取得で単位認定。100~80点をA、79~70点をB、69~60点をCと評価し、59点以下をD(不合格)と評価。																															
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日~8月31日 ■冬季:12月25日~1月7日 ■学年末:3月25日~3月31日		卒業・進級条件	学則に定める所定の修業年限以上在学し、規定科目の時間数・単位数の取得、学費等の納入を怠っていない者																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 保護者との連携、電話連絡、家庭訪問		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動: 無																															
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) アパレル業界 ■就職指導内容 学生指導全般で就職意識を高める指導をし、就職活動支援講座を授業科目として設けている。また、学内での企業説明実施や個別面接指導に十分時間をとり、学生個々へ丁寧な指導を行なっている。 ■卒業生数 24 人 ■就職希望者数 23 人 ■就職者数 : 22 人 ■就職率 : 95.6 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 91.6 % ■その他 ・その他:1名 (平成 30 年度卒業生に関する 2019年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>ファッションビジネス能力検定3級</td><td>③</td><td>36</td><td>31</td></tr><tr><td>ファッションビジネス能力検定2級</td><td>③</td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td>スタイリングマップ検定ジュニア</td><td>③</td><td>44</td><td>32</td></tr><tr><td>スタイリングマップ検定プレイヤー</td><td>③</td><td>13</td><td>6</td></tr><tr><td>リテールマーケティング(販売士)検定2級</td><td>③</td><td>21</td><td>12</td></tr><tr><td>フォーマルスベシヤリスト準2級</td><td>③</td><td>4</td><td>4</td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ファッションビジネス能力検定3級	③	36	31	ファッションビジネス能力検定2級	③	5	3	スタイリングマップ検定ジュニア	③	44	32	スタイリングマップ検定プレイヤー	③	13	6	リテールマーケティング(販売士)検定2級	③	21	12	フォーマルスベシヤリスト準2級	③	4	4
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																
ファッションビジネス能力検定3級	③	36	31																																
ファッションビジネス能力検定2級	③	5	3																																
スタイリングマップ検定ジュニア	③	44	32																																
スタイリングマップ検定プレイヤー	③	13	6																																
リテールマーケティング(販売士)検定2級	③	21	12																																
フォーマルスベシヤリスト準2級	③	4	4																																
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成30年4月1日時点において、在学者60名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者57名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 健康上の問題及び家庭の経済的問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施。学費の分納・延納措置の対応や学資ローン企業との連携による納入支援。		■中退率 5%																																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 平成28年 文部科学省のファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を促進する事業において、ファッション分野の第三者評価(試行)を受審。																																		
当該学科のホームページURL	http://www.musashino-fashion.ac.jp																																		

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育方針に共感し、人材教育の重要性を認識している企業との連携によってファッション業界に向けた職業の実践教育によって有益な人材を生み出す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門学校武蔵野ファッションカレッジにおいて専門的且つ実践的な職業教育を実施する為に、企業との連携を通じ必要な情報収集、分析を行い、授業内容や授業手法の改善、カリキュラム及びシラバス(案)の策定を行なう事とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
井関 理	株式会社レナウン	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
中澤 舞	一般社団法人日本ファッションスタイリスト協会	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
前野 祥子	株式会社レイ・カズン	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
片桐 芳子	本校 校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(2年)	
小倉 展伸	本校 教務部 副部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(2年)	
松山 由未	本校 教務部 教務課 副主事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(2年)	
奈良 将之	本校 教務部 教務課	平成31年4月1日～令和2年3月31日(2年)	
吉田 菜月	本校 教務部 教務課	平成31年4月1日～令和2年3月31日(2年)	
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 副主事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回(11月・3月)

(開催日時)

第1回 平成30年11月20(火)17:00～18:30

第2回 平成31年3月20日(水)16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員からの意見で、学生には組織内で信頼関係を築き信頼を保てる力を身につけてもらいたいという意見が出ていた。これは学校で掲げる「社会人基礎力」にも重なる部分であり、重要性を再認識した。具体的な取り組みとしては特別講義を企画し、取り上げていきたい内容であるが、日々の指導の中に信頼関係の構築、そのために自分自身は何をするべきか考えさせることを行なっていく事とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現職の業界人を講師として起用し、企業の業務手法を在学中に身につけ且つ人格的にも社会で通用するレベルになる様、礼儀も身につけることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

授業科目『スタイリストレーニング1』 連携企業『株式会社エーツー』

スタイリストの職業教育となる科目であり、カリキュラムはスタイリスト事務所と教務の連携で作られています。スタイリストに必要な知識や技術のほか、現場で必要な礼儀やプロとして仕事をするモチベーションを身につける様、講師は現職のスタイリストを起用し学生に現実的な職業教育として実施をしました。

学習成果の評価は、企業側が受講姿勢と授業内容理解度の評価を行いそれをもとに、教務課と協議の上、科目成績を出し単位の認定を行なっています。

授業科目『ファッションリテール』 連携企業『株式会社レイ・カズン』

販売に必要な知識や技術のほか、礼儀やプロとして仕事をするモチベーションを身につける様、講師は現職の販売トレーナーを起用し学生に現実的な職業教育として実施をしました。

学習成果の評価は、企業側が受講姿勢と授業内容理解度の評価を行いそれをもとに、教務課と協議の上、科目成績を出し単位の認定を行なっています。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
スタイリスト トレーニング1	スタイリストの役割の理解からはじまり、現場で必要な専門的スキルを身につけます。	株式会社エーツー
ファッション リテール	販売職に必要な接客スキルをロールプレイングを中心に 行い身につけます。	株式会社レイ・カズン

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

職業実務教育の観点から最新の業界情報まで精通した教員能力維持の為、『ファッション業界の実務研修』、『指導方法向上の研修』、『就職指導研修』を計画的に行い職業教育の向上に努めている。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

『ファッション業界の実務研修』

内容:接客演習「池袋パルコ 接客ロールプレイング大会」見学

実施日:平成30年8月3日(金)

内容:ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催 ミラノ・パリコレクションセミナー参加

実施日:平成30年10月30日(火)

②指導力の修得・向上のための研修等

『指導方法向上の研修』

内容:「退学予防:ハイパーQUを生かしたメンタルヘルスへの対応について」

講師:NPO 日本教育カウンセラー協会 事務局 北條 博幸 先生

実施日:平成30年6月13日(水)

『就職指導向上の研修』

内容:就職先業界研究「織研新聞社主催 業界研究セミナー センケンjob2020」参加

実施日:平成31年2月13日(水)

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

『ファッション業界の実務研修』

内容:ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催 ミラノ・パリコレクションセミナー参加

実施予定:令和元年10月下旬

②指導力の修得・向上のための研修等

『指導方法向上の研修』

「カウンセリングマインドを生かした生徒理解と対応」

実施予定:令和元年7月上旬

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・自己評価及び学校の公共性を担保するとともに専門学校の教育活動、その他の学校運営につき継続的に改善を図り、教育内容の質の向上を目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	育成人材像・将来(中期的)構想・学校の特色
(2) 学校運営	運営方針・事業計画・運営組織及び意見決定システム・人事考課制
(3) 教育活動	教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化
(4) 学修成果	就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価
(5) 学生支援	就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携
(6) 教育環境	施設、設備の整備・学外実習、インターシップ、海外研修等の教育体
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化・入学選考基準・学納金の妥当性
(8) 財務	財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守性・自己点検、自己評価の実施及び公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校運営に関して、各部門、各種委員会が評価アンケート、評価報告書を有効活用されている。「ファッション」とは「服」だけの事でなく、「世の中の変化」のことで、しっかりと「世の中の変化への対応」を検討されていると評価を受けた。本学の学校運営とファッションに関する考え方が企業等の方々から共感を得られたとは自信を得ることとなった。今後はこの方針で邁進し、カリキュラムでの表現ができるように進化していきたい。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
井関 理	株式会社レナウン 人事部長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	業界団体委員
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	業界団体委員
山中 哲也	東京学館浦安高等学校 教頭	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	高等学校教頭
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	卒業生
金久保 薫子	株式会社B 代表取締役	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	業界有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:[http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational\\_info.html](http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

公的な教育機関として教育活動や取組み等の学校運営の全体状況を積極的に可能な限り、整合性を持った情報として提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長・校訓・基本組織・事業報告書
(2) 各学科等の教育	学科・教育研究上の目的・入学者の受入方針・入学者数、
(3) 教職員	教職員の構成
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援・実践的職業訓練
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、納入時期等・就学支援、奨学金制度等
(8) 学校の財務	財務情報・監事監査報告書
(9) 学校評価	自己点検、自己評価報告書・学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:[http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational\\_info.html](http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html)

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションスタイリング科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			スタイリング1	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング1ではシャツを製作し、トップスの理解を目的とします。	1前	120	4	△	○	○				○	
○			スタイリング2	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング2ではパンツを製作し、ボトムスの理解を目的とします。	1前	120	4	△	○	○				○	
○			スタイリング3	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング3ではカジュアルジャケットを製作し、上着の理解を目的とします。	1後	120	4	△	○	○				○	
○			ビジネスコミュニケーション	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事。このようなビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図る。	1前	30	2	○	△	○				○	
○			ファッションビジネス1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1前	30	2	○		○			○		
○			ファッションコーディネート1	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1前	30	2	○		○				○	
○			スタイリングマップ1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めます。	1前	30	2	○	△	○				○	
○			デザイン画1	デザイン画1で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1前	30	1	△	○	○				○	
○			デザイン画2	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを製作します。	1後	30	1	△	○	○				○	
○			ファッションマテリアル1	素材、副資材等の知識、ミシン、アイロン他、用具の扱いを学び、スカートの制作行程を通して、縫製技術の基礎を習得します。	1後	30	2	○		○				○	
○			アパレル技術	パターンの基礎知識とパターンメイキングの基本を習得します。	1前	30	1			○	○			○	

(服飾専門課程ファッションスタイリング科) 平成30年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			パターンメイキング	パターンの基礎知識とパターンメイキングの基本を習得します。	1前	30	1			○	○			○		
○			コンピュータグラフィックス1	Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe illustrator や Adobe Photoshop の基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。	1前	30	1			○	○			○		
○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナー、接遇マナーを学び身につけます。就職活動対策も兼ね、就職活動をスムーズに行えるようにします。	1後	30	2	○			○				○	
○			incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1後	30	1			○	○			○		
○			プレゼンテーション1	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、目指します。	1通年	30	1			○				○		
○			マーケットリサーチ1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積します。	1通年	30	1			○		○		○		
○			コレクションセミナー1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。	1通年	15	1	○			○			○	○	
○			イベントプロデュース1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1通年	60	2			○	○			○		
	○		ヘアメイク1 *1	ヘアスタイリング、スキンケア、メイクの概論から入り、後半では実習を行います。メイク技術だけの向上ではなくコラージュ製作等でコンセプトの理解力も養います。	1通年	30	1			○	○				○	
	○		スタイリストトレーニング1	スタイリストの役割の理解からはじまり、現場に必要な専門的スキルを身につけ、2年次で行う現場研修(スタイリストトレーニング2)につなげます。	1後	30	2			○	○				○	○
	○		ファッションビジネス2	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。	1後	30	2	○			○				○	
	○		ショップマネジメント1	期間限定ショップ【incubate】の運営です。1年生は2年生のサポート的役割を担います。2年生がどう考え行動しているのか理解し、協力して下さい。	1前	30	1				○			○		

## (服飾専門課程ファッションスタイリング科) 平成30年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ファッションリテール	ファッションアドバイザーの仕事の理解、接客マナー、現場力、コミュニケーション能力を磨く。	1後	30	1			○	○		○	○	○
	○		リクルートガイダンス1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッション業界の就職の仕方を学びます。	1後	30	2	○			○		○		
		○	コンピューターグラフィック2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1後	30	1			○	○		○		
		○	販売士2級検定対策	単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。	1前	30	2	○			○			○	
		○	英会話	ネイティブの英会話講師による、店頭での接客を前提とした英会話を学びます。	1後	15	1	○		△	○				○
		○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1後	30	1			○	○		○		
		○	モデルウォーキング1	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	1後	30	1			○	○				○
		○	ヘアメイクスタッフ1	ファッションショー用のヘア&メイクアップの習得です。担当作品についてのヘア&メイクアップのプランニングから実施まで行います。	1後	30	1			○	○				○
		○	キャンパスサポート1	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話ができる接遇力を高めます。	1通年	30	1			○	○		○		
○			スタイリストワーク1	期間限定ショップに向けての商品製作をおこないます。ファッションスタイリング科らしいトータルコーディネートの視点でのファッション提案を目指します。	2前	120	4	△		○	○		○		
○			スタイリストワーク2	ファッションショーに向けての作品製作を行います。ファッションスタイリング科らしいトータルコーディネートの視点でファッション提案が課題です。	2後	120	4	△		○	○		○		
○			スタイリストワーク3	学園祭での発表に向けての卒業製作課題です。	2後	120	4	△		○	○		○		

## (服飾専門課程ファッションスタイリング科) 平成30年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションコーディネート2	この講義ではファッションとヘア&メイクを一体と考え、一つのコンセプトを同時に創り上げる訓練を行います。プロのスタイリストとヘア&メイクアップアーティストとのコラボレーション授業を実施します。	2後	30	1	○		△	○			○	
○			incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2後	30	1			○	○			○	
○			プレゼンテーション2	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、伝えることに磨きをかけます。	2通年	30	1			○	○			○	
○			マーケットリサーチ2	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積します。	2通年	30	1			○		○		○	
○			コレクションセミナー2	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。	2通年	30	1	○			○			○	○
	○		イベントプロデュース2	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	2通年	90	3			○	○			○	
	○		スタイリングマップ2	Styling Mapメソッドをベースに色彩とファッション・メイクやヘアスタイルのスタイリングテクニックについて、理論に沿い基本的な知識を習得します。	2前	30	2	○			○				○
		○	フォーマルスペシャリスト	フォーマルスペシャリスト準2級認定試験対策講座	2後	30	2	○			○			○	
	○		ヘアメイク2	ファッションイメージ表現の実習を中心に行ないます。メイク技術だけの向上ではなくコラージュ制作等でコンセプトの理解力も養います。	2前	30	1			○	○				○
	○		スタジオワーク	コーディネート作品を写真撮りし、作品集を作り上げる授業です。	2後	30	1			○	○				○
	○		ファッションビジネス3	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけます。	2前	30	2	○			○			○	
	○		ファッションマーケティング	マーケティングは目的達成の為の仕組みであると言い換える事も出来ます。課題を実習形式のグループワークで取り組み、学んでいきます。	2後	30	1	○			○			○	



## (服飾専門課程ファッションスタイリング科) 平成30年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
	○		ショップマネジメント2	PDCAサイクルを学生に体感させる実践的教育としての期間限定ショップ【incubate】の運営です。課題を与えそれに対して個人又はグループで解決してゆく形式で進めます。	2前	60	2			○	○	○	○			
	○		リクルートガイダンス2	1年時に身につけた知識を基に進路を探求します。各自の進路に合わせ、面接指導や個別相談で就職試験の準備をします。	2前	30	1	○			○		○			
	○		ビジュアルマーチャンダイジング	ヴィジュアルマーチャンダイジングは店舗設計～商品のディスプレイまで幅広いものです。知識だけでなく最後の授業では、まとめとして商品ディスプレイを実習で行います。	2前	30	1	○			○				○	
	○		スタイリストトレーニング2	スタイリストの現場研修『インターンシップ』です。スタイリストトレーニング1で学んだ内容を現場で生かしていきます。	2後	60	2			○		○			○	
	○		アパレルインターンシップ	現在学習している事が実際社会でどのように活用・展開しているかを知る事により、社会に出る為に今後何を学ぶべきかを認識し、勉学への意欲の向上を図ると共に、将来の職業適性や設計を考える機会とし、社会人としての自覚・職業観の育成を目的としています。	2前	60	2			○		○			○	
		○	帽子製作	自分のイメージした作品のデザインを、いかに厳密に正確により早く美しく仕上げるかを、製作を通して学びます。	2後	30	1			○	○					○
		○	ネイルアート	ネイル技術を用いた、指先に美しさと華やかさを創造し、トータルビューティーを目指します。ネイルケア、フラットアート、エンボスアート、3D立体、ミックスメディアアートを学びます。	2後	30	1			○	○					○
		○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	2通年	30	1			○	○				○	
		○	モデルウォーキング2	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	2後	30	1			○	○					○
		○	ヘアメイクスタッフ2	ファッションショー用のヘア&メイクアップの習得です。担当作品についてのヘア&メイクアップのプランニングから実施まで行います。	2後	30	1			○	○					○
		○	キャンパスサポート2	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話ができる接遇力を高めます。	2通年	30	1			○	○				○	
合計				62科目		2475 単位時間( 101 単位)										

(服飾専門課程ファッションスタイリング科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
出席回数、受講姿勢、課題提出や試験による総合評価							1 学年の学期区分				2 期				
							1 学期の授業期間				15週				

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。